

千葉県農業教育高度化事業補助金等配分基準

第1 趣旨

千葉県農業教育高度化事業（以下、「本事業」という。）について、2以上の事業実施主体が事業実施を希望し、かつ各事業実施主体における補助金等要望額の合計が県の事業予算額（県の補助上限額のことをいう。）を超過する場合においては、本配分基準によって各事業実施主体に対する補助金等の配分を行う。

第2 配分基準（配分基準のイメージは別紙のとおり）

- 1 各事業実施主体に対する補助金等の配分は、本事業実施要領別記様式第1号の別添様式第2号の（1）のアの②または（2）のアの②に記載された数値目標の合計値（以下、単に「目標値」と言う。）により行う。
- 2 各事業実施主体に対する補助金等の配分額は、以下により算定する。
 - （1） 各事業実施主体の目標値を合算した値に対する事業実施主体の目標値の割合に県の予算額を乗じた額、または事業計画に基づく補助金等の要望額のいずれか小さい額を事業実施主体に配分する。
 - （2） （1）により事業実施主体に対して補助金等を配分した結果、予算に残額が生じた場合は、補助金等配分額が補助金等要望額に満たない事業実施主体に予算の残額を再配分する。
 - （3） （2）により予算の残額を再配分する際は、（1）、（2）の手続きに準じて行う。
- 3 事業実施主体の中で、本事業実施要領第4の2の取り組みに対する補助を要望しており、前年度に同取り組みに対する補助金の交付を受けている事業実施主体があった場合は、2の配分額の算定から当該事業実施主体の同取り組みに対する補助要望金額を一時的に除外する。

2の（3）の後に、予算に残額が生じた場合は、一時的に除外した当該事業実施主体に対して、2の手続きに準じて補助金等を配分する。

（附則）

- 1 本配分基準は、令和4年度事業から適用する。
- 2 令和4年2月18日から施行する。

別紙

①補助金等の配分額の算定イメージ ※ 予算額が 15,000 千円であった場合

事業実施主体	A	B	C	合計	備考
補助金等の要望額 (千円)	5,000	10,000	3,000	18,000	
新規就農者数等の目標値 (人)	150	30	20	200	
補助金等の配分額 a (千円)	11,250	2,250	1,500	8,750	a または b のいずれか小さい額を補助金等の配分額とする。かっこ内は配分後の予算残額。
b	5,000	10,000	3,000	(6,250)	
補助金等の再配分額 a (千円)	—	3,750	2,500	5,250	上記に同じ
b	—	7,750	1,500	(1,000)	
補助金等の再々配分 a (千円)	—	1,000	—	1,000	
b	—	4,000	—		
補助金等の合計配分額 (千円)	5,000	7,000	3,000	15,000	

②補助金等の配分額の算定イメージ ※ 予算額が 15,000 千円であった場合
(C、Dが第2の3に該当する場合 (Cは2,000千円、Dは全額が該当))

事業実施主体	A	B	C	D	合計	備考
補助金等の要望額 (千円)	3,000	6,000	4,000 (2,000/2,000)	5,000	18,000	
新規就農者数等の目標値 (人)	150	30	20	40	240	
補助金等の配分額 a (千円)	11,250	2,250	1,500	—	6,750	a または b のいずれか小さい額を補助金等の配分額とする。かっこ内は配分後の予算残額。
b	3,000	6,000	2,000	—	(8,250)	
補助金等の再配分額 a (千円)	—	4,950	3,300	—	4,250	上記に同じ
b	—	3,750	500	—	(4,000)	
補助金等の再々配分 a (千円)	—	—	1,333	2,666	3,999	
b	—	—	2,000	5,000		
補助金等の合計配分額 (千円)	3,000	6,000	3,333	2,666	14,999	

※ a は各事業実施主体（再配分以降は補助金等配分額が補助金等要望額に満たない事業実施主体）の目標値を合算した値に対する各事業実施主体の目標値の割合に県の予算額を乗じた額、b は事業計画に基づく補助金等の要望額（再配分以降は要望額の残額）